

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日: 2021年2月26日

事業所名 みのり園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動内容によっては3部屋に分けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	職員配置は法令に基づいて行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	トイレ前にカーテンを設置してスペース確保するなどの対応をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	月一回の会議を行い情報共有をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様との申し送りの際にもご意見を聞けるようし、情報共有が出来るよう努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	毎年公開をしています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価は受けておりません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	当法人内のデイサービスや児童発達支援センターに参加をしていき、経験が積めるようにしています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者様からの聴き取りや、相談支援の計画案を活用しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	同一のアセスメントシートを使用しています。標準化されたアセスメントツールは使用していません。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	会議などで全員が話し合える場を作っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	季節や長期休みによりプログラムを変更しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日は作業や個別課題を中心に行っており、長期休みには運動や遊び、イベントなどを中心に行っています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動では個別課題を行い、集団活動では遊びの中で集団を意識できるようにしています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	開始前に担当のファイルをチェックをして頂き、連絡事項などを全員で確認が出来るようにしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	記録をつけながらその日の問題点や気づいた事を話し合い後日、ミーティングで情報共有が出来るようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	活動内容を記録する事が出来ています。今後も詳しく内容を記録できるようにしていきます。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回行っており、見直しの必要性などを判断しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインの内容を参考にし、組合わせて支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	送迎時に担当の教員とコミュニケーションを取り、情報共有をしています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	看護師の指示書に基づき対応をしています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	今後も情報共有に努めていきます。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報の共有が出来るように今後も努めていきます。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	しっかりと連携が出来るように今後も努めていきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	公園遊びや散歩の中で地域の方と交流をする機会があります。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	積極的に参加が出来るように今後努めていきます。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	今後も保護者様とお話をする事で共通理解を持てるように努めていきます。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	お迎え時など、保護者様と直接話をする事で情報の共有を行っています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に読み合わせをし、丁寧にご説明をさせて頂いています。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	今後も対応できるように努めていきます。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	お迎えを保護者様に来てもらう事で保護者様同士がお話をし、親しくなっています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	今後も適切に対応が出来るように努めていきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	活動や内容を月に1回、お便りとして配布をするようにしています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	全員が意識を高められるようにし、今後も管理に注意をしていきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	写真カードやマカトンサインを使い、支援を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	積極的に交流の機会が持てるように今後、検討をしていきます。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	準備中のものはありますが、すでにある物は掲示しています。マニュアル化をしていき、周知する方法を検討していきます。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回、避難訓練を行っており、年に1回、通報・避難・消火訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修の機会を増やしていくなど、再確認を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	通所支援計画の備考欄に記載し、了承を得ています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アンケートでアレルギーの有無を確認しています。医師の診断書の提出はありません。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	情報共有が出来るように今後も努めていきます。